

## 【事例 H26-09-04】大分県豊後大野市

こころをつなぐ仲間づくりフォーラム  
＝地域ネットワーク構築にむけて＝

自殺対策の普及啓発事業として、7つの町ごとに住民組織、ゲートキーパー、PTA等が中心となり実行委員会を立ち上げ、市内8会場にて「こころをつなぐ仲間づくりフォーラム」を開催し、様々な活動や体制づくりを通して地域の自殺対策の強化につなげた。

【実施主体】大分県豊後大野市

【大綱の分類】民間団体との連携を強化する

【事業予算】401,200円（平成28年度）

【利点】

- ▼身近な生活圏で、自分の住む地域の自殺の現状を理解してもらい、仲間づくりの必要性を学び、地域での取り組みを考える機会となる。
- ▼タブー視されてきた自殺について、参加者同士で話し合い、自殺を身近で深刻な問題だと認識し、自らの行動が自殺防止となることに気づくことができる。
- ▼参加者がゲートキーパー養成研修を受講するきっかけとなる。
- ▼住民主体の実行委員会形式で開催することから、住民が参加しやすいものとなる。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

- ・豊後大野市の自殺SMR（標準化死亡比、H20～24）は大分県下で最も高い。
- ・平成21年度から平成25年度までの5か年計画で自殺対策事業に取り組んできた。

【計画を立てる上での工夫・等】

- ・事業を展開する際は市民の力を借りて、市民と共に取り組むことを意識する。

【具体的な内容・実施の過程】

- ①普及啓発
- ②相談体制の強化・充実
- ③関係機関ネットワークの連携強化
- ④地域の支援者育成
- ⑤遺族支援
- ⑥自殺未遂者支援

- ▼7つの町ごとに住民組織、ゲートキーパー、PTA等が中心となり実行委員会を立ち上げ、市内8会場にて「こころをつなぐ仲間づくりフォーラム」を開催（市の現状説明、講演、意見交換）。
- ▼7年間でゲートキーパー養成研修受講者が610人となり、普及啓発事業が人材育成事業にまで広がってきた。

- ▼ふれあい農場を作り、「金ごま」作りの取り組みが始まった。
- ▼手作りの広報誌を作成して配布。
- ▼仲間づくり推進委員が各町での自殺対策キャンペーンを実施するようになった。

**【成 果】**

①「ここをつなぐ仲間づくりフォーラム」

- ・平成22年度～28年度は合計63会場、延べ5,776名の参加があった。
- ・平成24年度は9会場で延べ822名、平成25年度は968名の参加があった。
- ・平成24年度のアンケートからは、自殺率が高いという市の現状を知っている人は74%、市のこころの相談電話の周知度は66%であった。

②平成25年度の自殺対策講演会において行ったアンケート

- ・市の自殺対策の取り組みについて知っていた方は95%であった。
- ・自殺のないまちづくりのために必要なことには67%の方が「声かけ・見守り」と回答した。

③平成24年度に行った「心の健康についての意識調査」(平成20年度に行った調査と比較)

- ・自殺に対する認識を見ると、「自殺の前兆を示す人は多い」などといった正しい認識の回答割合はいずれも上昇(1.3倍～2.4倍)した。
- ・身近な人から自殺念慮を打ち明けられた時の対応として、「傾聴」が増加、「励まし」は減少し、適切な対応が知られるようになった。
- ・精神的不調がある人のうち、自殺念慮があるかないかについては、「そばにいてくれる人、悩みを聴いてくれる人、思いやってくれる人がいれば、精神的不調の中にあっても自殺を考えずに済む」可能性が示唆された。

**【補 足】**豊後大野市の自殺者数は平成20年に19名だったものが平成27年は5名にまで減少。自殺SMR値が平成20年度157.1だったものが、平成25年度106.6へ低下した。

**【課 題】**・各町の開催状況に特色があり、取り組みに差がでてきた  
・自殺対策の中での仲間づくり推進委員会の位置づけが明確でないため、委員の意見が反映されにくい。

**【事業種別】**普及啓発事業

**【準備期間・人数】**市内の各種団体のメンバー20名

**【予防段階】**1次

**【自治体規模】**人口37,000人(平成28年)

**【自治体負担率】**1/3

**【事業対象】**市民

**【支援対象】**市民

**【実施主体・問合せ先】**

大分県豊後大野市役所 市民生活課

TEL:0974-22-1001

E-mail:kh3267@city.bungoono.lg.jp

URL: <http://www.bungo-ohno.jp>

【参考資料・文献】

- ・自殺統計は大分県健康指標計算システムによるもの
- ・月刊 地域保健 2016年1月号「住民と共に『自殺のない住みよいまち』を目指す豊後大野市の取り組み